

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患
2007年7週

- 発生動向の概況
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
 - 男女別
 - 推移グラフ
 - 保健所別
 - 保健所別(定点当たり)
 - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
 - 週別検出状況
 - 臨床診断名別検出結果
- 定点医療機関からのコメント
- 感染症豆知識「臍トリコモナス症」

東京都医師会感染症予防検討委員会
事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)
FAX:03-5332-7365
e-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp
アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2007年7週》

(全数把握対象疾患)

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	2	ソルネ菌 1件、フレキシネル菌 1件	インドネシア
	パラチフス	1	血液からの病原体検出 推定感染経路:不明	インドネシア/タイ
四類	A型肝炎	3	特異IgM抗体検出 推定感染経路:経口感染	国内
五類	アメーバ赤痢	3	腸管アメーバ症 推定感染経路:経口感染 1件、 性的接触(異性間) 1件、不明 1件	国内
	後天性免疫不全 症候群	5	無症候性キャリア 4件、AIDS 1件 推定感染経路:性的接触(同性間) 5件	国内
	梅毒	3	早期顕症梅毒 3件(I期 1件、II期 2件) 推定感染経路:性的接触 2件(同性間 1件、 異性間 1件)、不明 1件	国内

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

- ・インフルエンザの報告数は増加傾向にあるが、例年と比べると定点当たり患者報告数は少ない状態で推移している。

※ 定点医療機関からのコメントは16ページをご覧ください。

(検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
急性咽頭炎	7	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
急性上気道炎	0	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1	
熱性けいれん、咽頭炎	5	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
インフルエンザ疑い	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
インフルエンザ	2	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	15	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	21	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	32	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	46	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	63	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	64	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	67	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3	
インフルエンザ	13	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB	
インフルエンザ	14	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB	
頸部リンパ節炎	9	咽頭拭い液	EBウイルス	
無菌性髄膜炎、胃腸炎	1	髄液	サイトメガロウイルス	
		糞便	ロタウイルス	
伝染性紅斑	7	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19	
不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 エンテロウイルス、 アデノウイルス	
川崎病	7	咽頭拭い液	アデノウイルス	
尿路感染症、急性ウイルス感染症	11M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
デング熱	24	血液	デングウイルス(IgM)	抗体
急性胃腸炎、突発性発しん疑い	0	糞便	ポリオウイルス2型	分離*

* 遺伝子検査で既に報告済みの検体を含む

ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス			サポウイルス	ロタウイルス
			G I	G II	G I + G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	263	39	0	39	0	0	0

全数把握対象疾患 患者報告数 2007年7週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ							2
	細菌性赤痢	1	1	2	2	12	6	77
	ジフテリア							
	腸チフス							3
	パラチフス				1	2	1	4
三類	腸管出血性大腸菌感染症			1		3	11	95
四類	E型肝炎	1				1	1	5
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		2	3	6	4	26
	エキノкокクス症			1		1		2
	黄熱							
	オウム病							1
	回帰熱							
	Q熱							3
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症			1		1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病	1				2	1	35
	デング熱							4
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症							1	
マラリア			1		2		2	
野兎症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症					2	5	47	
レプトスピラ症							1	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	2	1	3	22	6	88
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1	4		6	1	22
	急性脳炎						1	22
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1	16
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1	18
	後天性免疫不全症候群	9	11	12	5	57	14	156
	ジアルジア症		1	1		3		4
	髄膜炎 菌性髄膜炎							1
	先天性風しん症候群							
	梅毒		2		3	10	5	51
	破傷風							4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		3		12

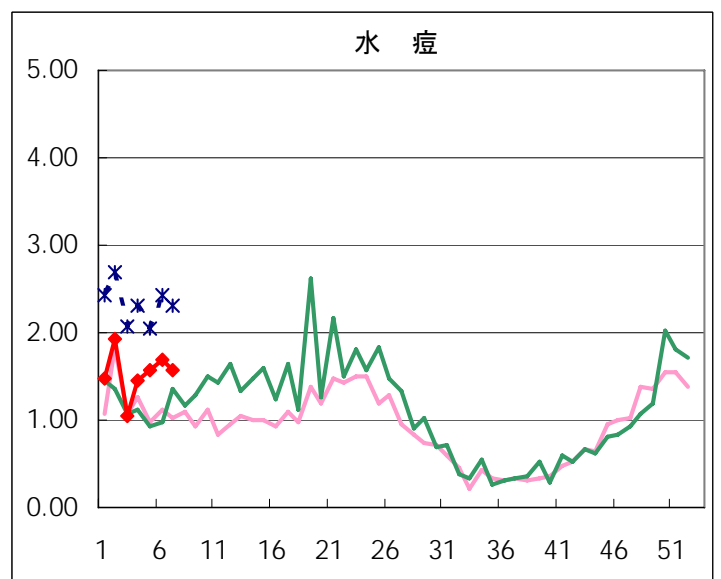
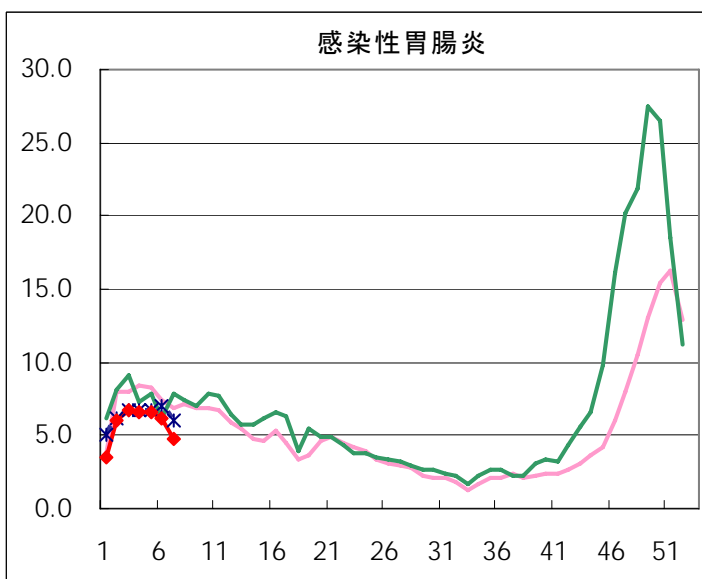
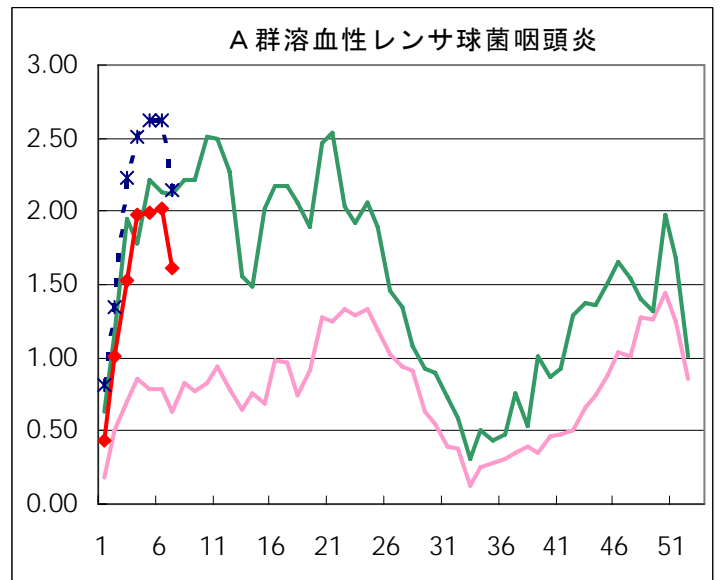
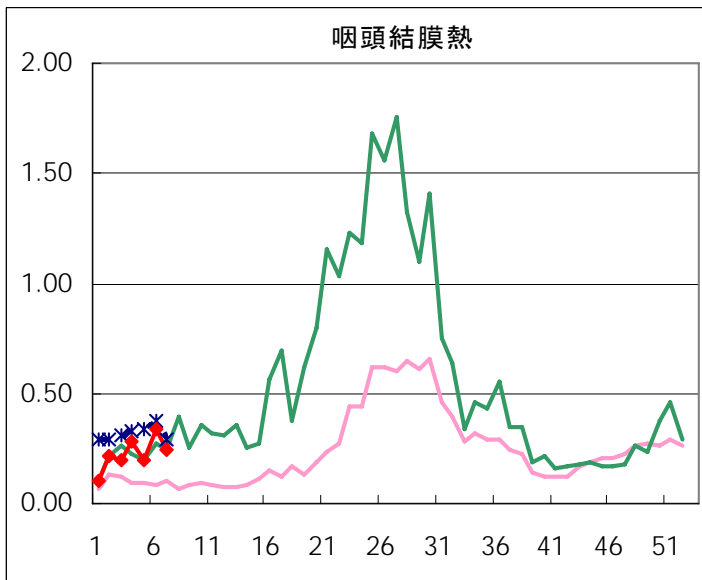
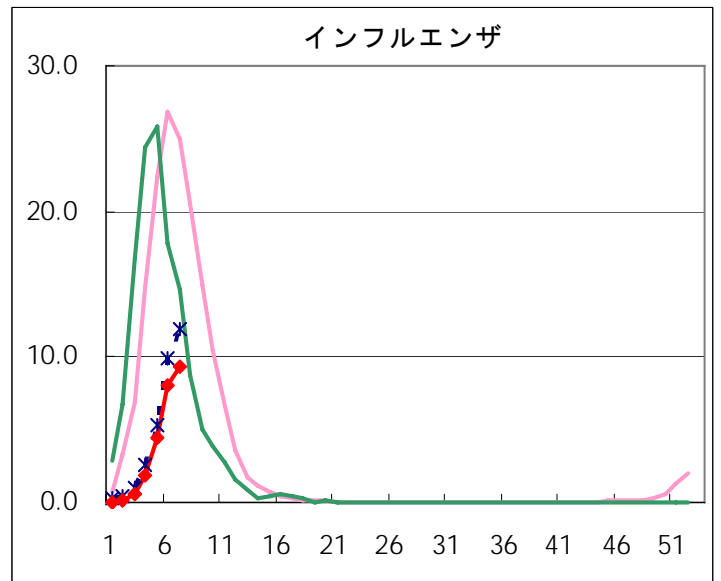
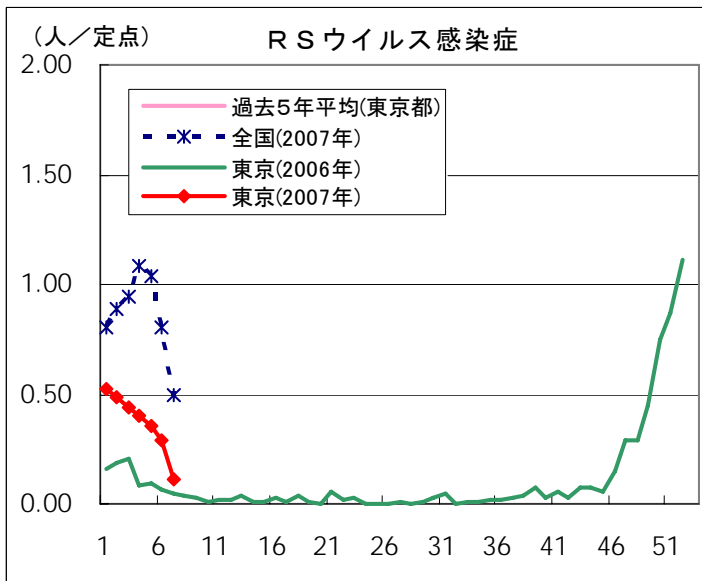
2007/2/21集計

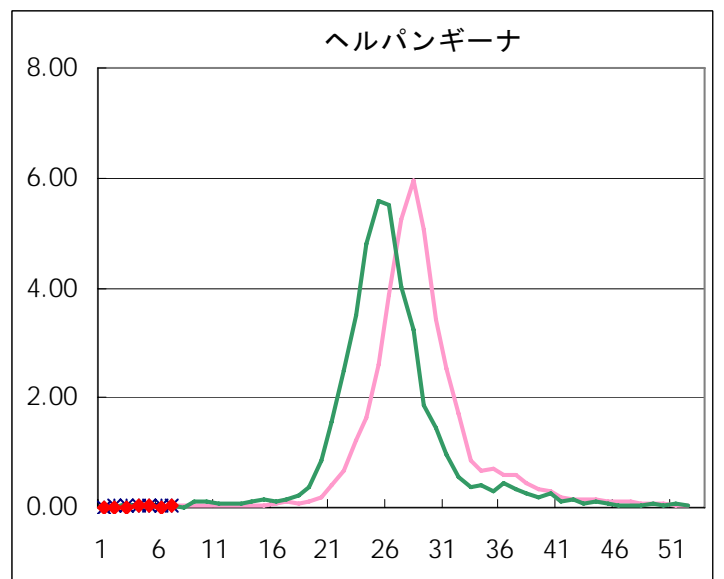
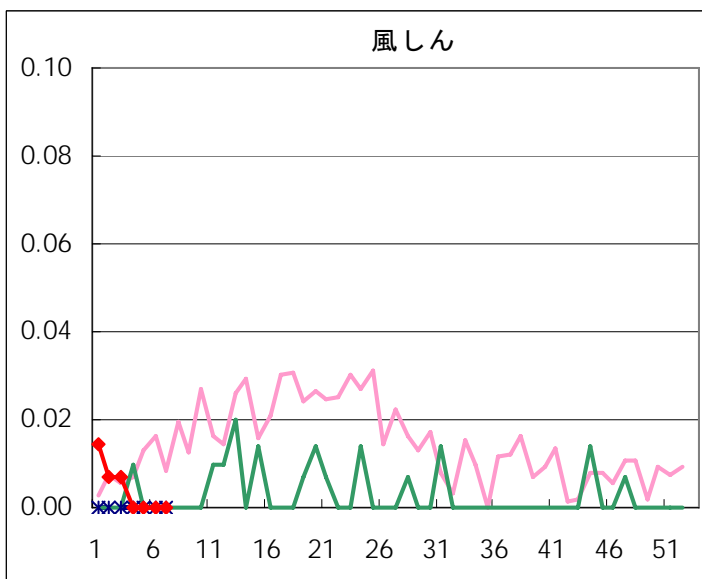
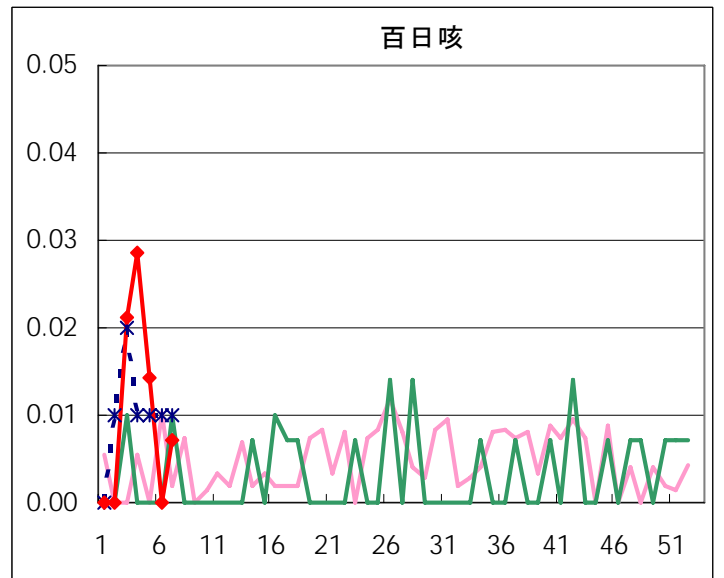
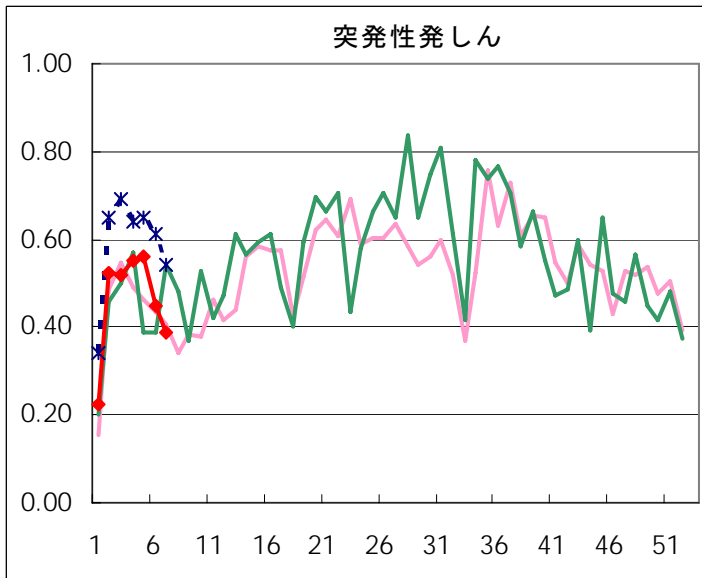
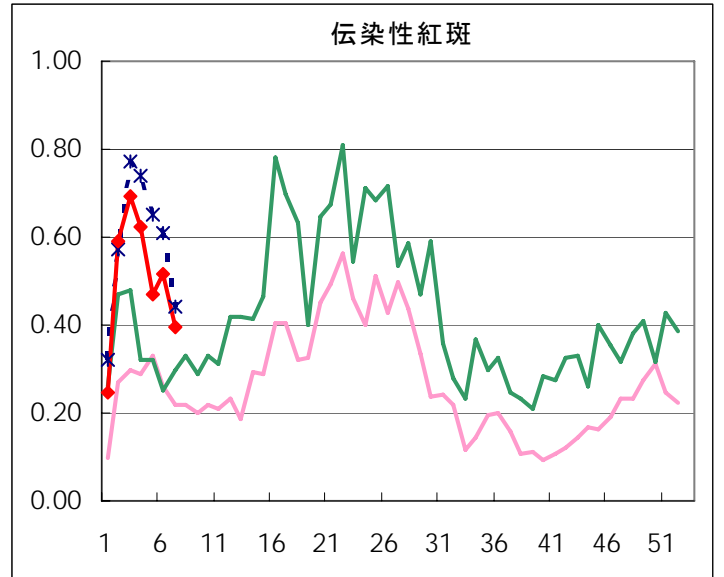
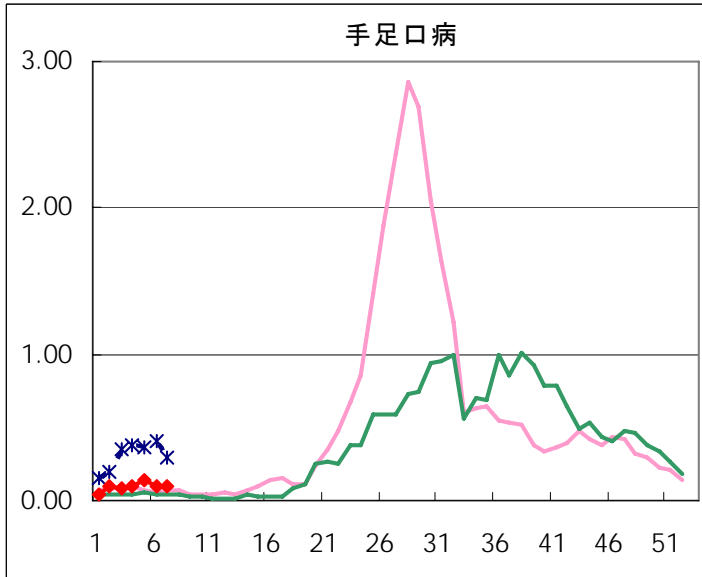
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2007年7週

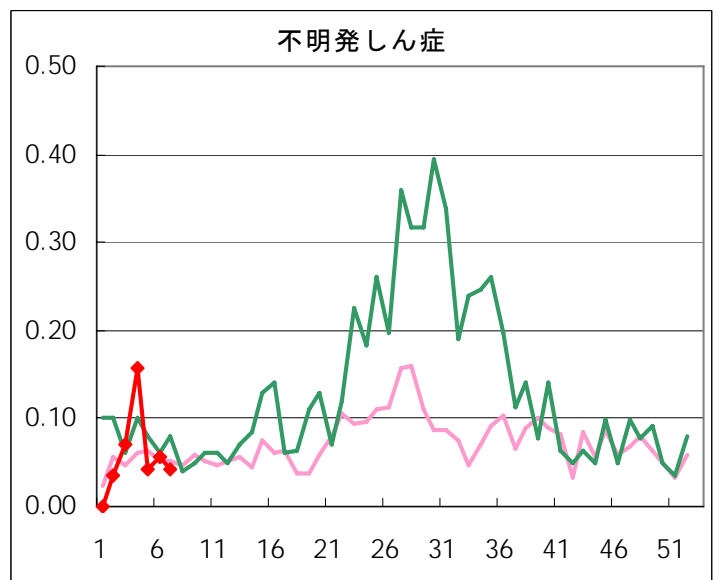
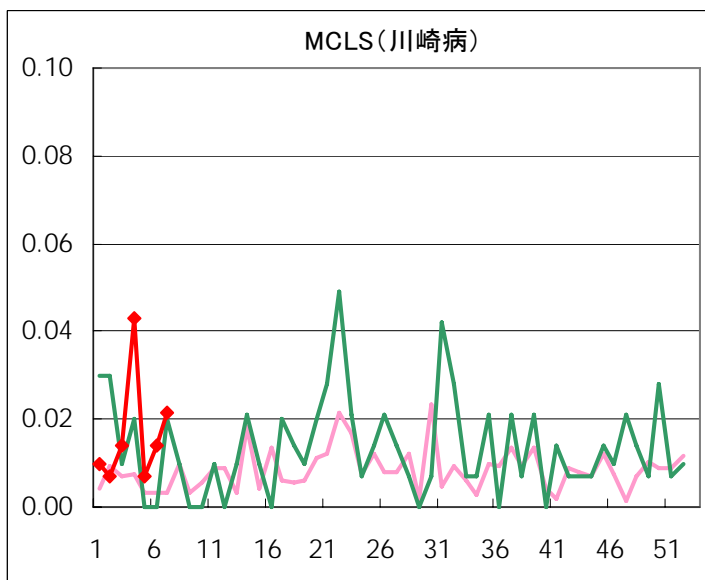
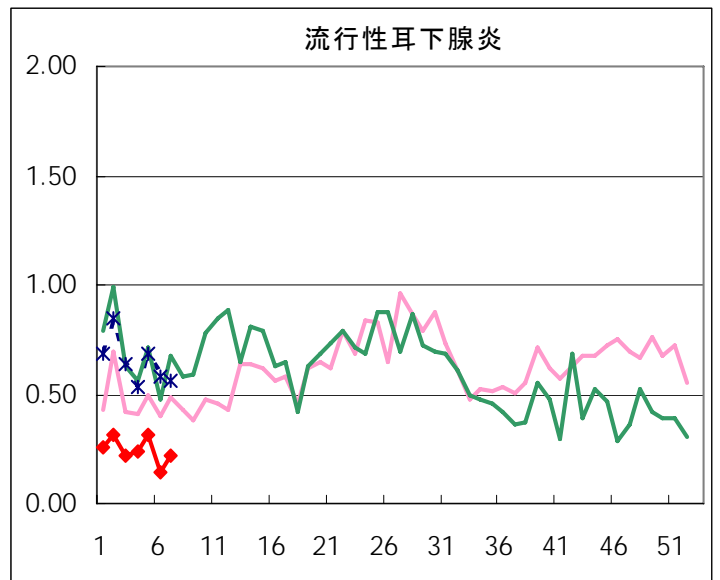
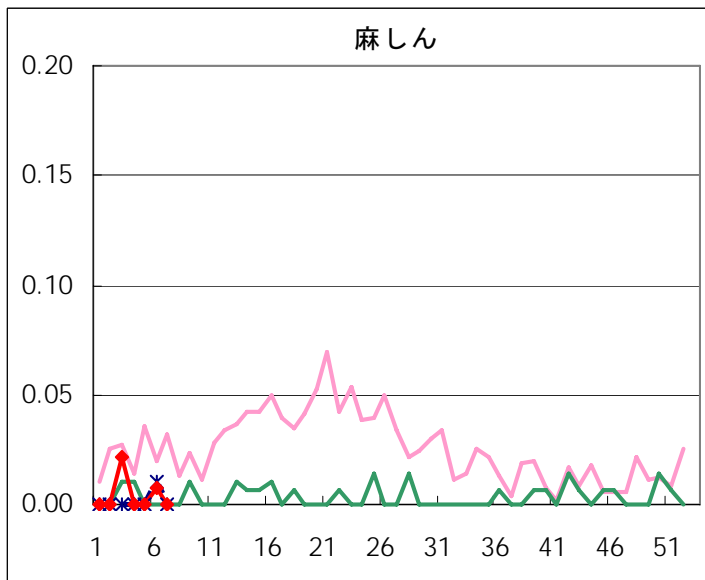
疾病名	性	2007年				4週合計	年累計
		4	5	6	7		
RSウイルス感染症	男	30	21	24	12	87	189
	女	26	28	17	4	75	175
インフルエンザ	男	251	671	1,159	1,291	3,372	3,480
	女	247	573	1,085	1,321	3,226	3,333
咽頭結膜熱	男	18	12	27	22	79	114
	女	21	15	21	12	69	106
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	139	137	150	130	556	784
	女	138	140	134	97	509	700
感染性胃腸炎	男	480	445	431	356	1,712	2,829
	女	447	472	439	322	1,680	2,836
水痘	男	98	117	126	103	444	767
	女	106	100	111	117	434	738
手足口病	男	5	10	7	6	28	41
	女	8	10	7	7	32	49
伝染性紅斑	男	41	29	36	26	132	249
	女	46	36	37	30	149	248
突発性発しん	男	33	32	33	29	127	222
	女	44	46	30	26	146	229
百日咳	男	3	1			4	5
	女	1	1		1	3	5
風しん	男						1
	女						3
ヘルパンギーナ	男	2	1	2	4	9	12
	女	2	3		1	6	6
麻しん(成人麻しんを除く)	男						
	女			1		1	4
流行性耳下腺炎	男	20	21	14	18	73	141
	女	13	23	6	13	55	97
不明発しん症	男	11	2	5	3	21	29
	女	11	4	3	3	21	28
MCLS	男	4		1	1	6	10
	女	2	1	1	2	6	7
急性出血性結膜炎	男						
	女						
流行性角結膜炎	男	11	6	8	7	32	50
	女	4	4	5	2	15	27
細菌性髄膜炎	男						2
	女	1				1	1
無菌性髄膜炎	男		1		2	3	3
	女						
マイコプラズマ肺炎	男	1	4	1	3	9	16
	女	1	3		2	6	8
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男			1		1	1
	女						

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年7週現在

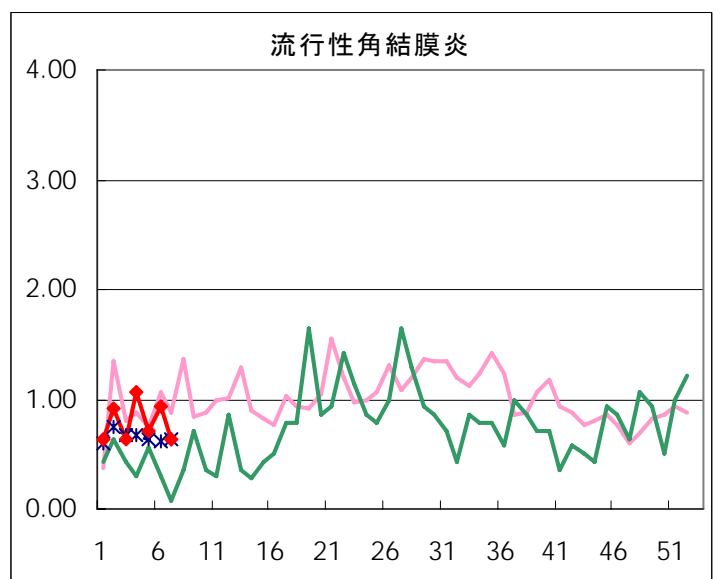
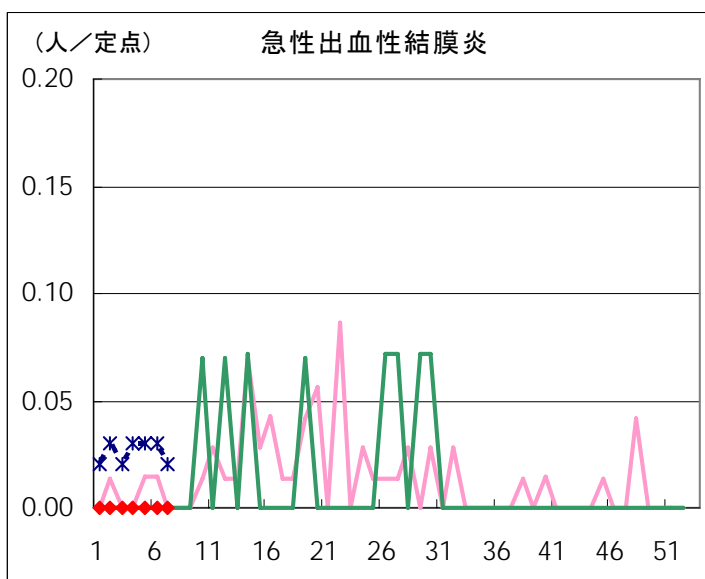
◆ 小児科・インフルエンザ定点



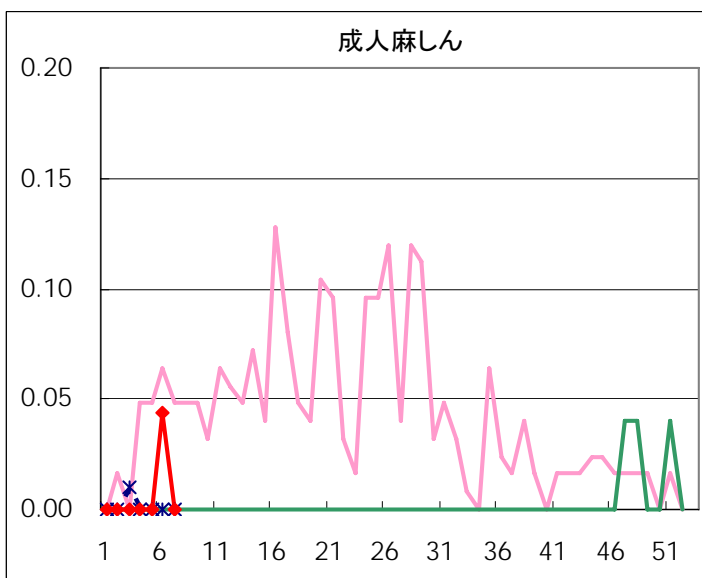
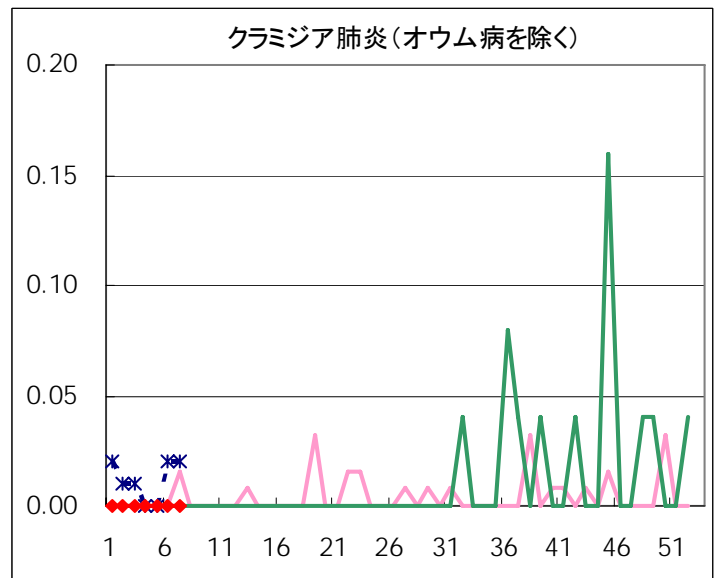
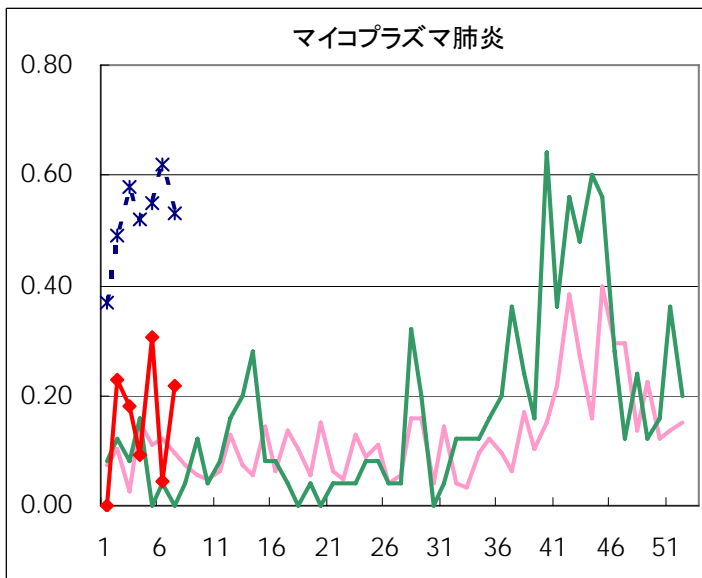
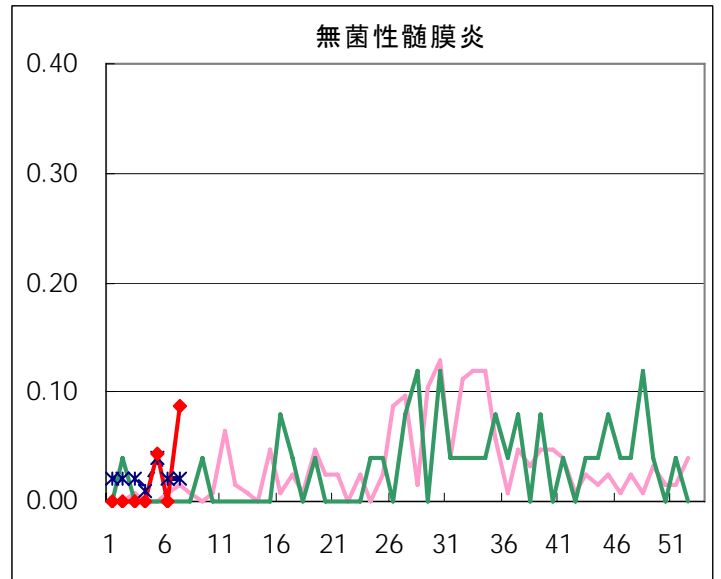
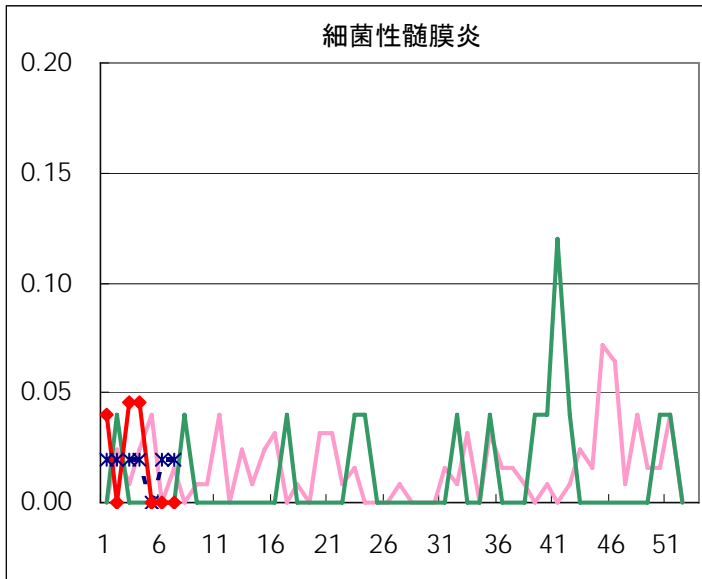




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	282	277
眼科	急性出血性結膜炎	14	14
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	23
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻しん		
小児科	上記を除く疾病	142	140

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】 2007年7週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		13			5		1	2		
中央区		30		5	7	9				
みなと	2	43	7	10	9	2				
新宿区		81		2	19	5		2	1	1
文京	2	61	2	3	9	1			1	
台東		29	6	6	21	7			2	
墨田区		52		9	28	5		1		
江東区		99		6	35	15		1	3	
品川区	3	35		14	59	6		9	5	
目黒区		14		2	6	6		2		
大田区	6	96	4	35	66	26			6	
世田谷		154	1	7	37	17	2	5	6	
渋谷区		37	1	1	14	2		8		
中野区	1	73		10	35	7	1			
杉並		125	1	4	36	9	1	6	1	
池袋		53			2				2	
北区		90		6	23	4		1	4	
荒川区		49	3	3	21	3			1	
板橋区		64			13			1		
練馬区		152		18	17	8		2	1	
足立		93			10	2	1	2		
葛飾区		69		1	17	8		1	6	
江戸川		343	2	12	11	9		2		
西多摩		85		3	32	9	1	4	3	
八王子		101	1	14	5	5	1	1	1	
南多摩		101		13	26	3		4	3	
町田		74		16	32	15				
多摩立川		71		2	14	4	1		2	
多摩府中		187		7	21	16		1	4	
多摩小平	2	136	6	17	47	15	4	1	3	
島しょ		2		1	1	2				

東京都合計	16	2,612	34	227	678	220	13	56	55	1
定点当り報告数	0.11	9.40	0.24	1.61	4.81	1.56	0.09	0.40	0.39	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】 2007年7週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									21
中央区									51
みなと									73
新宿区						2			113
文京						2			81
台東									71
墨田区									95
江東区						1			160
品川区				1					132
目黒区									30
大田区		1		3					243
世田谷				1					230
渋谷区				2		3			68
中野区				4				1	132
杉並									183
池袋		2							59
北区				1			1		130
荒川区						1			81
板橋区							1		79
練馬区				2					200
足立							1		109
葛飾区				2					104
江戸川				3					382
西多摩									137
八王子								2	131
南多摩				2					152
町田				2			1		140
多摩立川		1		2			1		98
多摩府中				4					240
多摩小平		1		2			1		235
島しょ									6

東京都合計	-	5	-	31	-	9	6	3	3,966
定点当り報告数	-	0.04	-	0.22	-	0.64	0.04	0.02	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年7週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		2.60			1.25		0.25	0.50		
中央区		7.50		1.67	2.33	3.00				
みなと	0.40	6.14	1.40	2.00	1.80	0.40				
新宿区		9.00		0.33	3.17	0.83		0.33	0.17	0.17
文京	0.67	12.20	0.67	1.00	3.00	0.33			0.33	
台東		5.80	2.00	2.00	7.00	2.33			0.67	
墨田区		8.67		3.00	9.33	1.67		0.33		
江東区		12.38		2.00	11.67	5.00		0.33	1.00	
品川区	0.50	3.50		2.33	9.83	1.00		1.50	0.83	
目黒区		2.33		0.67	2.00	2.00		0.67		
大田区	0.67	6.00	0.44	3.89	7.33	2.89			0.67	
世田谷		9.63	0.13	0.88	4.63	2.13	0.25	0.63	0.75	
渋谷区		6.17	0.25	0.25	3.50	0.50		2.00		
中野区	0.17	8.11		1.67	5.83	1.17	0.17			
杉並		10.42	0.17	0.67	6.00	1.50	0.17	1.00	0.17	
池袋		10.60			0.40				0.40	
北区		11.25		1.50	5.75	1.00		0.25	1.00	
荒川区		12.25	1.50	1.50	10.50	1.50			0.50	
板橋区		5.33			2.17			0.17		
練馬区		12.67		3.60	3.40	1.60		0.40	0.20	
足立		8.45			2.50	0.50	0.25	0.50		
葛飾区		7.67		0.25	4.25	2.00		0.25	1.50	
江戸川		31.18	0.50	3.00	2.75	2.25		0.50		
西多摩		9.44		0.60	6.40	1.80	0.20	0.80	0.60	
八王子		12.63	0.50	7.00	2.50	2.50	0.50	0.50	0.50	
南多摩		12.63		4.33	8.67	1.00		1.33	1.00	
町田		10.57		8.00	16.00	7.50				
多摩立川		5.46		0.33	2.33	0.67	0.17		0.33	
多摩府中		8.90		0.70	2.10	1.60		0.10	0.40	
多摩小平	0.33	9.71	1.00	2.83	7.83	2.50	0.67	0.17	0.50	
島しょ		1.00		1.00	1.00	2.00				

東京都合計	16	2,612	34	227	678	220	13	56	55	1
定点当り報告数	0.11	9.40	0.24	1.61	4.81	1.56	0.09	0.40	0.39	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年7週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田								
中央区								
みなと								
新宿区						1.00		
文京						2.00		
台東								
墨田区								
江東区						1.00		
品川区				0.17				
目黒区								
大田区		0.11		0.33				
世田谷				0.13				
渋谷区				0.50		3.00		
中野区				0.67				0.17
杉並								
池袋		0.40						
北区				0.25			0.25	
荒川区						1.00		
板橋区							0.17	
練馬区				0.40				
足立							0.25	
葛飾区				0.50				
江戸川				0.75				
西多摩								
八王子								1.00
南多摩				0.67				
町田				1.00			0.50	
多摩立川		0.17		0.33			0.17	
多摩府中				0.40				
多摩小平		0.17		0.33			0.17	
島しょ								

東京都合計	-	5	-	31	-	9	6	3
定点当り報告数	-	0.04	-	0.22	-	0.64	0.04	0.02

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年7週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	3	4	1		4	7		1	2
～11か月	7	14	1		32	7		3	26
1歳	3	83	4	2	87	35	5	4	21
2歳	1	91	2	5	54	39	1	1	2
3歳		100	3	17	53	36	1	5	1
4歳		119	7	25	60	32	3	6	
5歳		114	4	35	59	31	1	12	2
6歳		133	4	27	48	11	1	9	
7歳		123	2	39	34	5		7	
8歳		119	3	17	14	3		2	
9歳		100	1	12	23	6		3	
10～14歳		515	1	22	74	5		2	
15～19歳		211		3	13				
20～29歳	2	269	1	23	123	3	1	1	1
30～39歳		276							
40～49歳		178							
50～59歳		88							
60～69歳		33							
70～79歳		23							
80歳以上		19							
合計	16	2,612	34	227	678	220	13	56	55
先週比	-25	368	-14	-57	-192	-17	-1	-17	-8

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月									
～11か月								1	
1歳								1	
2歳			1		4				1
3歳					4			1	
4歳					7				
5歳					4				1
6歳			1		5			1	
7歳					2			1	1
8歳					4			1	
9歳					1				
10～14歳			1						
15～19歳									
20～29歳	1		2				3		
30～39歳							1		
40～49歳							3		
50～59歳							1		
60～69歳							1		
70～79歳									
80歳以上									
合計	1	-	5	-	31	-	9	6	3
先週比	1	0	3	-1	11	0	-4	-2	1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2006年52週～2007年7週

検出病原体・抗体		検体採取週							合計	
		05年	2006年							
		52	1	2	3	4	5	6		7
ウイルス	アデノ		7	2	5	6	5	6	3	34
	ライノ		5		1	1		1		8
	ポリオ								1	1
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群		2							2
	エコー		1							1
	エンテロ71									
	その他のエンテロ								1	1
	単純ヘルペス		2							2
	水痘・帯状疱疹						2			2
	ヘルペス6/7		3	1	4	1	3	1	3	16
	EB		2	1	3		1	1	1	9
	サイトメガロ			2			1		1	4
	ムンプス		1	1		1				3
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19		1				1		1	3
	RS		4			1	1		1	7
	ノロ	135	49	59	74	21	74	48	39	499
	ロタ				1		3	5	2	11
インフルエンザAH1				1	2	1	3	1	8	
インフルエンザAH3				2	1	17	26	11	57	
インフルエンザB						3	6	2	11	
デング								1	1	
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌			2						2
	その他の腸管系病原菌	1		1				1		3
	溶血性レンサ球菌			1	1		1			3
	MRSA									
	MSSA									
	その他の細菌			1						1
その他の病原体		1	2	2	1		1		7	

臨床診断名別検出結果 2006年52週～2007年7週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	合計
搬入検体数	91	23	32	1510	22	1	5	4			6	23	1	3			105	
アデノ		8	4	3		1		3				6	1				8	34
ライノ			1	2	2							2					1	8
ポリオ												1						1
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群		2																2
エコー																	1	1
エンテロ71																		
その他のエンテロ												1						1
単純ヘルペス					1							1						2
水痘・帯状疱疹														2				2
ヘルペス6/7	1	1		1	3							8					2	16
EB		1									2	3	1	1			1	9
サイトメガロ		2															2	4
ムンプス					2								1					3
麻疹																		
風しん																		
パルボB19											3							3
RS	1		5														1	7
ノロ			39	458	1							1						499
ロタ			1	9													1	11
インフルエンザAH1	5	1	1														1	8
インフルエンザAH3	56																1	57
インフルエンザB	11																	11
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	2	2
その他の腸管系病原菌				1													2	3
溶血性レンサ球菌			1				1										1	3
その他の病原体			5														4	9
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

定点医療機関からのコメント

◇インフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントを多くいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関から報告のあった患者に関するコメント
	A	B	
台東	10	2	
墨田区	10	3	
	13	2	
目黒区	2	2	
	1		
大田区	4	1	B型は6歳男です。
	3	5	
	2	1	
	1		
	5	1	B型は30歳代女です。
	5	1	
	2		
6			
世田谷	8	5	
	1		
	9	1	B型は年齢区分15～19歳男です。
	4	1	
	17	7	
中野区	2	2	
	3		患者は全員インフルエンザの予防接種を受けていません。
	10	6	その他の患者2名
	3	1	
北区	16	14	
	5	2	
	7	3	
板橋区	4	4	
	7		
	6	1	A型は、1歳女、10～14歳女、30歳代女、40歳代女、60歳代女、80歳以上女、各1名 B型は、年齢区分10～14歳男
	2		
練馬区	18	5	
	9	6	
足立	8	4	5歳男児は今シーズン2回目のA型インフルエンザ罹患
	11	11	不明5名
葛飾区	7	2	患者9名中、ワクチン未接種者5名、接種済者4名
西多摩	14	2	
	3	1	A型は、30歳代2名、50歳代男1名。B型は年齢区分15～19歳1名。50歳代女2名はA型・B型とも陽性
	5		
	14		
八王子	1		突然の発疹により発症、迅速診断キットにてA型陽性反応有。家族内には発疹等の症状のある者はいない
	1		
	14	5	
	2		A型は、30歳代男と60歳代女
南多摩	4	2	患者44名。14歳未満の9割がB型
多摩立川	4	5	
	3	4	その他の患者4名
多摩府中	3		
		1	
	2	8	A型は、2歳女と30歳代男。その他はB型
	12	2	
	9		
多摩小平	11		
	6		
	7	5	
	17	2	患者19名中、ワクチン未接種者11名、接種済者8名です。
	3		
8	7	患者15名。集団発生はまだないようです。	

<感染症豆知識>

膣トリコモナス症

膣トリコモナス症は膣炎における性感染症（S T I）の代表で、東京都ではS T I 定点疾患にも含まれる。成人女性では頻度の高い疾患で時に難治性のももみられる。この理由は膣トリコモナス原虫が患者自身の膣以外の性器（子宮頸管など）、尿路さらにはパートナーの尿路、性器にも侵入し、有力な再発、再感染の源となるからである。とくに性交感染は重要なルートである。発症機序として膣トリコモナスが膣の清浄度を維持する乳酸桿菌と拮抗して起こるとい説が有力である。実際に本症では膣トリコモナスだけがみられるものでなく、嫌気性菌や一般細菌（球菌、桿菌）の増殖をきたした混合感染の形態をとることが一般的で、治療により膣トリコモナスが消失すると、再び乳酸桿菌が優位となり治癒に向う。

本症の症状は膣炎によるもので、診断にあたっては、自覚的には希薄膿様帯下を主訴とし、他覚所見は膣壁の発赤、漿液膿性の分泌物（急性期には泡沫状を呈する）が参考になるが、診断の確定は膣分泌物の鏡検（培養）で、膣トリコモナス原虫を証明することである。

治療は抗膣トリコモナス剤による治療と感染様式、経路対策が治療方針の眼目である。すなわち性交感染（ピンポン感染）を考えると本症治療の薬剤は経口投与の可能な薬剤で、ニトロイミダゾール系のメトロニダゾール（フラジールなど）を500mg/日、分二、10日間経口投与する（妊娠の場合は膣錠を用いる）。またパートナーも同時に治療することが望ましい（男性では膣トリコモナスの検出（尿培養）が困難なことをふまえて）。再発を繰返す例や頑症例には経口、局所の併用療法もすすめられる。

（文責 （財）性の健康医学財団 理事長 松田静治）